

# 県道路メンテナンス会議

## 橋梁点検研修会開く

### オリエンタルコンサルが協力

千葉県道路メンテナンス会議は、15日と16日の2日間、千葉県橋梁点検研修会を袖ヶ浦市役所で開き、県と市町村から延べ約100人が参加した。

今回の研修会は、地方公共団体の職員を対象に行つたもので、点検に必要な基礎知識を習得するための「座学」と実橋を用いた「現地橋梁点検実習」の2部構成。現地実習は、国道16号の奈良輪高架橋で実施。実習に使用する機械や説明担当などは、千葉県道事務所

発注の橋梁点検業務を受注した㈱オリエンタルコンサルが業務の一環として協力した。

道路メンテナンスは総力戦  
研修に先立ちあいさつした千葉県道事務所の宇都優二副所長は、昨年度に続き

2回目的開催となった研修会の目的を改めて説明するとともに、この日集まった多くの参加者に対して謝意を表した。

昨年5月29日に発足した同会議の活動については「メンテナンスサイクルを継続的に回すために、予算・体制・技術・国民の理解

が一体となった仕組みの構築に取り組んでいる」と説明。「今後は、県や市町村などの各道路管理者が、それぞれ

の各道路管理者が、それぞれ

①点検に関する法令・技術基準の体系②橋の構造と基本③定期点検の実施と記録を説明

④点検に関する法令・技術基準の体系②橋の構造と基本③定期点検の実施と記録を説明

その後、橋梁点検実習現場へと移動し、①主桁・床版点検②橋脚点検③磁粉探傷試験④超音波探傷試験⑤鉄筋探傷試験⑥赤外線サーモグラフィ体験の6項目を実施。このうち、主桁・床版点検では、高所作業車に搭乗し、主桁・床版に接近。近接目視により損傷状況を確認し、ひび割れ周辺を点検ハンマーで打音を

その後、橋梁点検実習現場へと移動し、①主桁・床版点検②橋脚点検③磁粉探傷試験④超音波探傷試験⑤鉄筋探傷試験⑥赤外線サーモグラフィ体験の6項目を実施。このうち、主桁・床版点検では、高所作業車に搭乗し、主桁・床版に接近。近接目視により損傷状況を確認し、ひび割れ周辺を点検ハンマーで打音を

その後、橋梁点検実習現場へと移動し、①主桁・床版点検②橋脚点検③磁粉探傷試験④超音波探傷試験⑤鉄筋探傷試験⑥赤外線サーモグラフィ体験の6項目を実施。このうち、主桁・床版点検では、高所作業車に搭乗し、主桁・床版に接近。近接目視により損傷状況を確認し、ひび割れ周辺を点検ハンマーで打音を

その後、橋梁点検実習現場へと移動し、①主桁・床版点検②橋脚点検③磁粉探傷試験④超音波探傷試験⑤鉄筋探傷試験⑥赤外線サーモグラフィ体験の6項目を実施。このうち、主桁・床版点検では、高所作業車に搭乗し、主桁・床版に接近。近接目視により損傷状況を確認し、ひび割れ周辺を点検ハンマーで打音を



あいさつする宇都副所長(右)と上田講師

高所作業車に搭乗して打音検査を行った



メンテナンスサイクルを確立し、円滑な取り組みを進めて道路施設の維持管理を効率的に実施する必要がある」との考えを述べた。

道路管理者がメンテナンスサイクルをさらに、国土交通省道路局が、道路利用者に道路インフラや老朽化対策の現状を理解してもらつたために取りまとめた『道路メンテナンス年報』について言及。「当事務局としては、この年報を活用するとともに、道路メンテナンス総力戦の一つとして、引き続きこの研修会の継続と充実を図り、地方公共団体の皆さんには体制面の強化と支援を実施していく」と呼びかけた。

講義では、関東地方整備局道路部の上田信也氏が、

①点検に関する法令・技術基準の体系②橋の構造と基本③定期点検の実施と記録を説明

その後、橋梁点検実習現場へと移動し、①主桁・床版点検②橋脚点検③磁粉探傷試験④超音波探傷試験⑤鉄筋探傷試験⑥赤外線サーモグラフィ体験の6項目を実施。このうち、主桁・床版点検では、高所作業車に搭乗し、主桁・床版に接近。近接目視により損傷状況を確認し、ひび割れ周辺を点検ハンマーで打音を